

内訳・概況書 R4 会社事業概況書 様式変更対応版 (Ver.20.11) のリリース

令和2年4月1日以後終了事業年度分より、会社事業概況書の様式が一部変更になりましたので、内訳・概況書 R4 (Ver. 20.11)、および電子申告対応版 (Ver. e12) をリリースいたします。

1. 発行プログラム

システム名	バージョン	(データ変換対象)	(保守加入対象)
内訳・概況書 R4	20.11 ※1	13.10 ※2 ※3	19.10 ※3
内訳・概況書 R4 電子申告更新用	e12 ※4	—	—

- ※1 内訳・概況書 R4 20.1 用のライセンスを使用します。(前回 (Ver. 20.10) から変更ありません。)
また、E i ボード 19.10 以降がインストールされた環境が必要です。
- ※2 13.10 (内訳・概況書 R4 初版バージョン) 以降で作成された法人データは「旧データ」として、データ選択画面に表示されます。
データ選択により「データ変換処理」が行われ、本バージョン (Ver. 20.11) で使用できるようになります。
- ※3 対象となるバージョンは前回 (Ver. 20.10) から変更ありません。
- ※4 更新の対象は、内訳・概況書 R4 Ver. 20.11 以降です。20.10 以前のバージョンには使用できません。

2. 日程 (予定)

ダウンロード提供のみとなり、CD オプション契約の方への CD 送品はありません。
なお、出荷切替は行いますので、新規購入 (またはバージョンアップ) のお客様には Ver. 20.11 を提供いたします。

提供方法	提供日
E i ボードダウンロードマネージャー	2020年 5月 25日 (月)
エプソン会計システム「マイページ」	
出荷切替 (新規、バージョンアップ)	2020年 6月 9日 (火)

3. 会社事業概況書 様式変更の内容

令和2年4月1日以後終了事業年度分より、会社事業概況書の「②子会社の状況」、「④海外取引の概要」の様式が変更されました。

※勘定科目内訳書や法人事業概況書の様式は変更ありませんので、会社事業概況書を使用しないお客様はバージョンアップを見送られても差し支えありません。

3-1. 「②子会社の状況」の変更内容

「国名」欄が追加された他、「資本金」欄が「資本金又は出資金の額」になるなど、項目名の変更が合わせて行われました。

▼変更前 (＝令和2年4月1日前終了事業年度用の様式)

法人名					資本金		変更前		
所在地					事業種目				
出資割合等	直接	%	間接	%	子会社との 当期の取引額 (百万円)	売上高			
							仕入高		
							その他()		

▼変更後 (＝令和2年4月1日以後終了事業年度用の様式)

法人名					資本金又は 出資金の額		変更後		
所在地					国名	主たる事業			
株式等の 保有割合	直接	%	間接	%	子会社との 当期の取引額 (百万円)	売上高			
							仕入高		
							その他()		

3-2. 「④海外取引等の概要」の変更内容

「主な取引先、国名」欄が「主な取引先」欄と「国名」欄とに分割された他、「③貿易外取引－取引形態」の項目名が一部変更されました。

▼変更前 (＝令和2年4月1日前終了事業年度用の様式)

② 貿易取引等				変更前	
取引形態	項目	取引金額 (億円)	主な取扱品目等		主な取引先、国名
輸出					
輸入					
海外工事					
その他					
③ 貿易外取引					
取引形態	項目	取引金額 (百万円)	主な取引先、国名		
手数料	支払				
	受取				
ロイヤリティー	支払				
	受取				
役務の提供	支払				
	受取				
利息	支払				
	受取				
証券の売買	取得				
	譲渡				
不動産の売買	取得				
	譲渡				
その他					

▼変更後 (=令和2年4月1日以後終了事業年度用の様式)

② 貿易取引等				
取引形態	項目	取引金額 (億円)	主な取扱品目等	主な取引先 <u>国名</u>
輸出				
輸入				
海外工事				
その他				

③ 貿易外取引				
取引形態	項目	取引金額 (百万円)	主な取引先	国名
手数料	支払			
	受取			
<u>無形固定資産の 償却料</u>	支払			
	受取			
<u>役員提供の対価</u>	支払			
	受取			
<u>借入金の利息又は 貸付金の利息</u>	支払			
	受取			
証券の売買	取得			
	譲渡			
不動産の売買	取得			
	譲渡			
その他				

変更後



会社概況書が使用できるようになります。

4. システムの対応内容

上記様式変更に対応しました。

4-1. 旧データ変換対応 (従来と同様)

Ver. 20.10 (内訳・概況書 R4 の前回バージョン) までのデータは、データ選択画面に「旧データ」として表示されます。

これをデータ選択することで、データ変換処理が行われます。(従来と同様です。)

※データ変換は、会社事業概況書の使用有無に関係なく必ず行われます。

4-2. 「主な取引先、国名」(旧様式) 欄の移行

様式変更のうち、「主な取引先、国名」が「主な取引先」と「国名」が分割される箇所ですが、データ変換では、全て「主な取引先」側に移行します。
データ変換後に確認と見直しをお願いします。

▼旧様式での入力

取引形態		取引金額 (百万円)	主な取引先、国名
手数料	支払	100	SAMPLE CO.,LTD.、アメリカ
	受取		

▼新様式に変換後

取引形態		取引金額 (百万円)	主な取引先	国名
手数料	支払	100	SAMPLE CO.,LTD.、アメリカ	
	受取			

「主な取引先」側にそのまま移行されますので、

4-3. その他の変更 (ネットワーク版) E i ボードのサーバー使用バージョン制限の解除

Ver. 20.10 では、サーバーのE i ボードのバージョンが 18.21 以下である場合に繰越処理時にエラーが発生していましたが、サーバー側のE i ボードのバージョンが低くても繰越処理ができるようにしました。

▼Ver. 20.10 での制限事項 ※本バージョンでは発生しないようになります

[QAID : 4164【内訳・概況書 R4】繰越処理でエラーになる \(ネットワーク版でお使いの方\)](#)

以上